

平成28年度 福島県政世論調査

調 査 票

I 復興に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取り組みに関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 食品や農産物の安全性確保についての取り組み・モニタリング情報
- 2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 3 除染の進捗などの状況
- 4 復興へ向けた取り組み
- 5 安心して子育てできる環境づくりへの取り組み
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償に関する情報
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 特にない
- 10 その他（具体的に _____)

問2 復興が前に進んでいると感じるのは、どのような情報を得たときですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば記入してください。

- 1 避難指示解除など区域の見直しに関する情報
- 2 除染が進んでいることを感じる情報
- 3 文化・スポーツの分野における本県選手の活躍に関する情報
- 4 復興公営住宅の建設・入居に関する情報
- 5 環境創造センターなど新たな拠点施設の整備に関する情報
- 6 本県で開催される全国規模のイベントに関する情報
- 7 子どもたちの笑顔や元気を感じる情報
- 8 道路、海岸など公共土木施設の復旧等に関する情報
- 9 新たなことに挑戦している若者等に関する情報
- 10 新たな産業(再生可能エネルギー産業、ロボット産業等)の進展に関する情報
- 11 観光地等の賑わいに関する情報
- 12 農業や水産業の再開に向けた動きに関する情報
- 13 廃炉に向けた動きに関する情報
- 14 本県を応援している県外の人に関する情報
- 15 特にない
- 16 その他（具体的に _____)

上記の理由等

問3 本県の復興の状況に関する情報については主に何で入手していますか。
 あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 新聞 |
| 2 | テレビ・ラジオのニュースなど |
| 3 | インターネット（行政以外のページ） |
| 4 | インターネット（県のホームページ、フェイスブック、ツイッターなど） |
| 5 | 県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど） |
| 6 | 市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど） |
| 7 | 国の広報（テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど） |
| 8 | 行政以外の印刷物 |
| 9 | 口コミ |
| 10 | その他（具体的に) |

問4 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

(ア)～(ク)について、それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば記入してください。

			満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは満足していない	満足していない	見たことがないのでわからない
(ア)	広報誌	ふくしまから はじめよう。ゆめだより	1	2	3	4	5
(イ)	新聞	県政特集（福島民報・福島民友）	1	2	3	4	5
(ウ)	テレビ	キビタンGO！（福島テレビ：毎週木曜日 21:54～22:00）	1	2	3	4	5
(エ)	テレビ	Let's チャレンジ！ふくしま（福島放送：毎週火曜日 20:56～21:00）	1	2	3	4	5
(オ)	ラジオ	キビタンスマイル（ふくしまFM：毎週月～金曜日 17:30～17:35）	1	2	3	4	5
(カ)	インターネット	県ホームページ	1	2	3	4	5
(キ)	インターネット	Facebook（フェイスブック） 「ふくしまから はじめよう。」	1	2	3	4	5
(ク)	インターネット	YouTube（ユーチューブ） 「福島県公式チャンネル」	1	2	3	4	5

選んだ理由

問5 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば
記入してください。

- 1 農産物や県産品の安全性
- 2 被災者の生活状況、被災者の声
- 3 復興に向けてがんばる県民の姿
- 4 農産物や県産品の魅力
- 5 除染の進捗状況
- 6 震災の被害及び復旧・復興の状況
- 7 震災後の応援に対する感謝の気持ち
- 8 放射線のモニタリング情報
- 9 観光情報、来県の呼びかけ
- 10 再生可能エネルギーやロボット産業などにおける先進的な取り組み
- 11 県内外で開催される本県関係のイベント情報
- 12 特になし（理由： ）
- 13 その他（具体的に ）

上記の理由等

II 農林水産業について

震災後の本県農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

問6 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答可）

- 1 国産の食材を積極的に購入する
- 2 県産の食材を積極的に購入する
- 3 放射性物質の検査結果がわかるもののみ購入する
- 4 ごはんを中心とした日本型食生活の実践
- 5 米を原料とするパンや麺など米粉製品を積極的に利用する
- 6 食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす
- 7 その他（具体的に： ）

問7 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 農山漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場
- 2 食料を生産する場
- 3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割
- 4 農林漁業の作業体験等を通じた教育の場
- 5 水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割
- 6 伝統文化を保存・承継する役割
- 7 農山漁村の景観による癒し、レクリエーションの場
- 8 滞在型体験農園などの活用による二地域居住
- 9 その他(具体的に:)

問8 全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深める国土緑化運動の中心的行事で、天皇皇后両陛下のお手植え・お手播きをはじめ、県内外から多くの皆様にお集まりいただき、式典や記念植樹が行われます。この全国植樹祭が平成30年春季に福島県南相馬市を会場に開催されることを知っていましたか。知っていた場合、きっかけは何でしたか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 テレビ、ラジオ、新聞など
- 2 パソコン、スマートフォンなどの電子媒体
- 3 行政の広報誌
- 4 全国植樹祭に関するイベントや大会テーマ・シンボルマーク作品募集のチラシ
- 5 友人・知人から
- 6 その他のきっかけ(具体的に)
- 7 知っていたが、きっかけは覚えていない
- 8 全国植樹祭は知っていたが、平成30年福島県開催は知らない
- 9 全国植樹祭を知らない

問9 森林で行うどのような活動に興味がありますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 木を植えたり、育てたりする活動
- 2 森林浴や自然観察などの散策活動
- 3 キャンプなどの野外活動
- 4 キノコや山菜の採取
- 5 ドングリ拾いや虫取りなどの遊び
- 6 森林の働きなどを学ぶ森林環境学習
- 7 その他(具体的に)

Ⅲ 生物多様性について

福島県では、「ふくしま生物多様性推進計画（第2次）」を軸として「自然と人が育む、生物多様性豊かな“ほっとする、ふくしま”」の実現を目指して各施策に取り組んでおります。生物多様性に関する県民の皆様の意識についてお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

(参考) 生物多様性とは
 いろいろな生物が存在している様子の中で、生態系の多様性、種における多様性、遺伝子の多様性など、各々の段階でさまざまな生命が豊かに存在することをいいます。

問10 あなたは、「生物多様性」という言葉について知っていましたか。
 あてはまるもの 1つに○ をつけてください。

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった
- 3 言葉も意味も知らなかった

問11 震災前と比較して、あなたの周りの自然環境はどのように変化しましたか。
 ア～キについて、それぞれ1～5の中であてはまるもの 1つに○ をつけてください。

	良 く な っ た	ど ち ら か と 言 え ば 「 良 く な っ た 」	該 当 し な い	ど ち ら か と 言 え ば 「 悪 く な っ た 」	悪 く な っ た
ア 田んぼや畑、ため池など身近な自然が減少した	1	2	3	4	5
イ カエルや昆虫、魚、鳥など身近な生き物が減少した	1	2	3	4	5
ウ 雑木林などの里山が減少した	1	2	3	4	5
エ 海の生き物が減少した	1	2	3	4	5
オ 数の少ない、あるいは絶滅の恐れのある生き物がさらに減少した	1	2	3	4	5
カ 農作物や住宅に被害を与える動物が増えた	1	2	3	4	5
キ 外来生物など、これまで見たことがなかった動物や植物が増えた	1	2	3	4	5

問 12 生物多様性を保全していくことは大切ですが、一方で東日本大震災からの復旧・復興に取り組む必要もあります。あなたはこのことについてどのようにお考えでしょうか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 1 復旧・復興事業にかかわらず、人間の生活にある程度制約があっても、生物多様性の保全を最も優先する
- 2 まずは復旧・復興事業を優先するが、一定の目処が立った後は、人間の生活にある程度制約があっても、生物多様性の保全を優先する
- 3 復旧・復興事業にかかわらず、人間の生活が制約されない程度に、生物多様性の保全を進める
- 4 人間の生活の豊かさや便利さを確保するためには、生物多様性の保全が失われてもやむを得ない
- 5 その他（具体的に： _____)
- 6 わからない

問 13 生物多様性の保全や、それによる生態系からの豊かな恵み（生態系サービス）を得るために最も重要だと思うことはどれですか。

あてはまるもの いくつでも○をつけてください。（複数回答可）

- 1 里地、里山、河川などの身近な自然環境の保全・再生
- 2 絶滅のおそれのある希少な野生生物の保護
- 3 密猟などの違法行為に対する監視や罰則の強化
- 4 二酸化炭素吸収機能や水源かん養機能などを高める森林の整備
- 5 自然保護に関わる市民・NPO等への活動支援
- 6 市民の意識啓発や子どもへの環境教育
- 7 野生生物による農業などへの被害対策
- 8 市民が自然と触れ合う機会の創出
- 9 自然環境に関する調査研究の推進
- 10 生態系に影響を与える外来生物の駆除
- 11 自然保護に関する規制区域などの拡大
- 12 有機農業など環境保全型農業の推進
- 13 その他（具体的に： _____)
- 14 わからない・知らない

問 14 あなたは、生物多様性に配慮したライフスタイルとして、これからどのようなことを行いたいと思いますか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- 1 旬のもの、地のものを選んで購入する
- 2 身近な生き物を観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう
- 3 エコツアー（ガイドによる自然体験）に参加する
- 4 自然保護活動や美化活動に参加する
- 5 生き物を最後まで責任を持って育てる
- 6 環境に配慮した商品を優先的に購入する
- 7 自然や生き物について、家族や友人と話し合う
- 8 節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む

IV 高校教育について

福島県教育委員会では、第6次福島県総合教育計画の基本理念である「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」に基づき、各施策に取り組んでおります。以下の質問は、高等学校教育に対する県民の皆さまのご意見をお伺いし、今後の高等学校の在り方を考える上での参考資料とするためにお願いするものです。

問 15 次の学科は、平成28年度に福島県内の県立高等学校・私立高等学校にある主な学科です。学校名にとらわれることなく考えた場合、あなたが（またはお子様等に）選びたい（選ばせたい）学科は何ですか。

希望順に2つ選んでください。

第1希望

第2希望

学科分類	学 科 名
普通科	1 普通科（幅広い教養を身に付けながら、進路に応じた学習をする学科）
普通系専門学科	2 理数科（数学や理科について深く学ぶ学科） 3 英語科（英語について深く学ぶ学科） 4 文理科（文系科目と理系科目について深く学ぶ学科） 5 国際系の学科（外国語について深く学び、国際感覚等を身に付ける学科） 6 体育科（体育について深く学ぶ学科） 7 美術科（美術について深く学ぶ学科） 8 音楽科（音楽について深く学ぶ学科）
職業系専門学科	9 農業科（農業について深く学ぶ学科） 10 水産科（海洋工学や漁業等について深く学ぶ学科） 11 工業科（工業について深く学ぶ学科） 12 商業科（商業について深く学ぶ学科） 13 家庭科（家庭科について深く学ぶ学科） 14 看護科（看護について深く学ぶ学科）
総合学科	15 総合学科（普通教育の科目及び専門教育の科目について幅広く総合的に学ぶ学科）

問 16 あなた（またはお子様等）が進学を希望し、高等学校を選択する場合、重視したい点は何ですか。

あてはまるもの 3つまで○をつけてください。

1 学科の学習内容	
2 部活動や委員会活動	
3 学校のイメージや校風	
4 高校卒業後の進路状況	
5 校舎等の施設や設備	
6 通学時間・方法	
7 その他（具体的に：	）

問 17 定時制高等学校と中高一貫教育校について質問します。

(1) あなたがお住まいの地域に、郡山萌世高等学校やいわき翠の杜高等学校のような昼間主コース・夜間主コースを持つ定時制高等学校は必要だと思いますか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | |
|------------|
| 1 必要だと思う |
| 2 必要とは思わない |
| 3 わからない |

(2) あなたがお住まいの地域に、中学校から高等学校までの6年間を接続した中高一貫教育校は必要だと思いますか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|---|--------------------|
| 1 必要だと思う | → | 引き続き問 18 にお答えください。 |
| 2 必要とは思わない | → | 以上でアンケートは終了です。 |
| 3 わからない | → | 以上でアンケートは終了です。 |

問 18 問 17 (2) において、「1 必要だと思う」と回答した方だけに質問します。

(1) お住まいの地域に一番必要だと思う中高一貫教育校の形態はどれですか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 中等教育学校 (中高的6年間を1つの学校としたもので、本県にはまだない) |
| 2 併設型中高一貫教育校 (会津学鳳中学校・高等学校のように、高校に併設された中学校がある学校) |
| 3 連携型中高一貫教育校 (高校が近隣の中学校と連携し中高交流等を行う学校) |
| 4 わからない |

(2) 中高一貫教育校では、どのようなことを一番に重視した方が良いと思いますか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 豊かな人間性や社会性の育成 |
| 2 確かな学力の育成 |
| 3 地域社会の中核となる人材の育成 |
| 4 スポーツ・芸術のスペシャリストの育成 |
| 5 その他 (具体的に: _____) |

V 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱えている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問19 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------|---|----------|
| 1 | 良い | → | (問19-1へ) |
| 2 | 悪い | → | (問19-2へ) |
| 3 | 変わらない | | |
| 4 | わからない | | |

(問19で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問19-1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 犯罪の被害に遭った人が身近にいない |
| 2 | 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける |
| 3 | パトカーや警察官の姿を良く見かける |
| 4 | 隣近所とのコミュニケーションが図られている |
| 5 | 犯罪発生ニュース等を聞かなくなった |
| 6 | 地域住民の防犯意識が高まった |
| 7 | その他 () |

(問19で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問19-2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 犯罪の被害に遭った人が身近にいる |
| 2 | 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を見かけない |
| 3 | パトカーや警察官の姿を見かけない |
| 4 | 隣近所とのコミュニケーションが図られていない |
| 5 | 犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった |
| 6 | 地域住民の防犯意識が希薄になった |
| 7 | その他 () |

(全員にお尋ねします。)

問20 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの 3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 各種防犯研修会の開催 | 6 ラジオ放送による広報 |
| 2 警察官の訪問による具体的な助言活動 | 7 新聞の定期的な掲載 |
| 3 防犯広報紙の配布 | 8 携帯端末等へのメール配信 |
| 4 県警察ホームページへの掲載 | 9 その他 () |
| 5 テレビ放映による広報 | 10 わからない |

問21 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの 3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 自分の住んでいる地域の犯罪情報 | 7 多発している犯罪の手口や傾向 |
| 2 市町村単位の犯罪情報 | 8 なりすまし詐欺に関する情報 |
| 3 福島県全体の犯罪情報 | 9 来日外国人の犯罪情報 |
| 4 全国の犯罪傾向 | 10 インターネットに関する犯罪情報 |
| 5 学校や幼稚園周辺の犯罪情報 | 11 防犯設備・防犯グッズ等の情報 |
| 6 少年非行の現状 | 12 その他 () |

問22 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの 3つまで○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 犯罪の検挙活動 |
| 2 犯罪の抑止活動 |
| 3 パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。) |
| 4 巡回連絡 (家庭等の訪問活動) |
| 5 緊急事案に対する迅速な対応 |
| 6 交通取締り等の交通事故の抑止活動 |
| 7 犯罪・事故被害者に対する支援 |
| 8 事件・事故に関する情報発信 |
| 9 警察安全相談の充実 |
| 10 意見・要望への的確な対応 |
| 11 防犯・交通ボランティア等の結成、活動への支援 |
| 12 その他 (具体的に) |
| 13 特にない |

問 23 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの 3つまで ○をつけてください。

- 1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
- 2 空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪
- 3 子どもに対する声かけやいたずら
- 4 強姦、強制わいせつ、痴漢等の性的犯罪
- 5 なりすまし詐欺（振り込め詐欺など）
- 6 少年犯罪
- 7 児童買春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪や児童虐待
- 8 DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪
- 9 ヤミ金融事犯や悪質商法
- 10 インターネットを利用したサイバー犯罪
- 11 飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反
- 12 暴力団等による組織犯罪
- 13 外国人犯罪グループによる犯罪
- 14 公務員等による汚職事件
- 15 麻薬、覚せい剤、危険ドラッグの売買、乱用などの薬物犯罪
- 16 不法投棄などの環境犯罪
- 17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
- 18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
- 19 その他（具体的に _____)
- 20 特にない

問 24 震災から5年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの 3つまで ○をつけてください。

- 1 夜の町を歩くのが怖くなった
- 2 喧嘩、暴力沙汰を見かけるようになった
- 3 身近に交通事故の発生がある
- 4 交通流の変化、渋滞などを目にするようになった
- 5 身近に廃棄物等の不法投棄がある
- 6 復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする
- 7 賠償金目当て等のなりすまし詐欺に不安を感じる
- 8 その他（具体的に _____)
- 9 特に不安に感じるものはない

VI 安全で安心な県づくりについて

福島県では、「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例」に基づき、真に安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんに「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問25 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	はい	「はい」 どちらかと言えば	どちらとも言えない ・該当しない	「いいえ」 どちらかと言えば	いいえ
ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5

- ※ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方につきましては、「あなたの暮らす地域」について、以下により回答してください。
- ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
 - ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

VII 県総合計画について

福島県では、30年後の未来を展望して策定した総合計画「ふくしま新生プラン」に基づき、基本目標「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け取り組んでいます。

計画の取り組みに関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、総合計画の評価・検討に活用してまいります。

問26 次にあげたア～ヌの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	はい	「はい」 どちらかと言えば	どちらとも言えない ・該当しない	「いいえ」 どちらかと言えば	いいえ
ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思いますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか（鑑賞を含む）。	1	2	3	4	5
エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いませんか。	1	2	3	4	5
カ 県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取り組みを行っていると思いませんか。	1	2	3	4	5
キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ク 県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー（太陽光など）の利用を進めたいと思いませんか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5

	はい	どちらかと言えば 「はい」	どちらとも言えない ・該当しない	どちらかと言えば 「いいえ」	いいえ
サ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5
シ あなたの住む地域は、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備された地域ですか。	1	2	3	4	5
ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5
セ あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5
ソ あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5
タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
チ あなたの生活空間は、放射線から安心して暮らすことができる空間ですか。	1	2	3	4	5
ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5
テ あなたの住む地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ト あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。	1	2	3	4	5
ニ あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取り組みを行っていますか。	1	2	3	4	5
ヌ あなたは、今住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5

◆ このページの質問は、アンケートにお答えいただいた内容を統計的に分析するために
お尋ねするものです。最後までご協力をお願いします。

あなたご自身についてお答えください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。

1 男	2 女
-----	-----

F 2 あなたの満年齢をお知らせください。（平成28年10月1日現在）

1 15～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70歳以上

F 3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
(複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者） |
| 2 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者） |
| 3 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者） |
| 4 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上） |
| 5 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など） |
| 6 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など） |
| 7 パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など |
| 8 専業主婦・主夫 |
| 9 学生・生徒 |
| 10 その他（具体的に： _____) |
| 11 無職 |

F 4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

(震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名)

(市 ・ 町 ・ 村)

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒をお使いのうえ、
10月25日（火）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投函し
てください。